

広報 **3** 月号 NO.337

もくじ

P 2-3	「めんだまち」今昔物語
P 4-5	まちのわだい
P 6-9	免田町閉町式典
P 10-11	まちの情報
P 12	4月カレンダー

編集・発行 / 〒868-0406 熊本県球磨郡免田町役場 企画開発課
ホームページ <http://www.menda.jp/> 印刷 / (有)ソーゴグラフィックス
2003年3月20日発行



撮影者:花鳥風月写友会会員 月足正信氏 場所 免田町久鹿「丸池公園」

特集

「めんだまち」今昔物語



「あさぎり町」誕生まで、残りわずかとなりました。先月号では「広報めんだ」で免田町の歴史を振り返りましたが、今回は閉町式典に合わせて開催されました「免田町なつかしの写真展」から数点をピックアップし「めんだまち」を振り返りたいと思います。

写真・情報提供：坂田義徳氏（本町区）



現在の深田通り交差点付近

深田通り交差点付近

（国道を通る産交バス）

上の写真は、昭和二十五年ごろの深田通り交差点付近の様子です。町並みは、戦争直後とほとんど変わっておらず、戦争のショックからようやく立ち直ろうとする高度成長時代の入口です。

当時、自動車はほとんどなく写真のように車が走っているのは珍しかったようです。交通手段は、町内であれば徒歩か自転車、町外へは、バスが主流だったそうです。

商店街は八幡町まで続いていました。

免田の玄関「免田駅」



写真提供：桑原篤憲氏（黒田区）



現在は、商工コミュニティーセンターと一体となった「免田駅」

つい最近まで、実在した旧免田駅。平成十一年に建て替えられるまで利用していたとはいえ、今ではなつかしい駅舎となりました。

昭和38年撮影
写真・情報提供：富崎邦嘉氏（築地区）



土搗き歌

エエー
一つやりましょはばかり
ながら
歌の文句はちよいと知ら
ねどもー
（※アラヨイヨイヨイヤ
ナー アラニヤコラニヤト
セー）

エエー
わしの音頭は師匠なし音
頭
うそが半分まことが少し
※繰り返し

エエー
うそば云うたときやどん
どん笑え
まこと云うたときやかけ
声しやんと
※繰り返し

エエー
一に搗くのが大黒柱
二番搗くのがえびすの柱
※繰り返し

エエー
三に搗くのが七福八神
四番五番と左へ廻る
※繰り返し
（それぞれ地域で歌詞・
内容が異なる）

家の基礎づくり「土搗き」

ある年代から若い人は何の写
真だろうと不思議に思うかもし
れません。

しかし、当時の家屋建設では、
欠かせない作業の一つでした。
「土搗き」をして地盤を固め、
丈夫で長持ちする家が作られた
ようです。「土搗き」には、近
所の人々が手伝いに駆けつけ、
男性が綱を引っ張り、周りでは
女性が思い思いの仮装をし、場
を賑わせていたそうです。
「土搗き」の綱引きは相当重
かったそうです。



土搗きのおかげで今でも丈夫な富崎家

豊作願う「もみ種まき」

昭和三十年頃のもみ種まきの
模様です。

今のように苗箱に種をまくの
ではなく、水田に直接手作業で
ばら播きしていたそうです。

当時の稲作は牛馬で耕し、手
植え、手刈り、足踏み脱穀、架
け干、天日干しなど現在とは
まったく違っていました。その
ほとんどが手作業のためか、一
戸当たりの作付面積も今よりか
なり少なく、地域の人と共同で
作業していたようです。



写真・情報提供：徳永謙一氏（二子区）
後ろに見えるのは旧二子公民館（現在とほぼ同じ位置）

葬式会葬者行列の様子

昭和十七年当時、徳永眞一氏
の祖父（小三郎氏）の葬式会葬
者行列の様子です。

当時の葬式は、自宅やお寺で
執り行われ、お寺で行われる際
は、自宅から会葬者が霊屋を担
ぎ、近所の子どもたちが五色旗
を持って行列をなしていたそう
です。

火葬・土葬が中心で、火葬場
は現在の慰霊碑付近にあり、そ
こまでは行列をなし移動し、焚
き物を焼べて火葬していました。



昭和50年頃の免田中学校 写真提供：免田中学校



現在の免田中学校

生徒の学び舎「免田中学校」

現在とはほぼ同じ場所にあった
「免田中学校」です。各世代が学
び合った学校も大きく変わりに
ました。

わだい



「JA全農賞」を受賞した看板

盟友の団結が見事に実を結ぶ 全国看板コンクール「JA全農賞」受賞祝賀会

去る2月28日、ポッポー館において、全国看板コンクール「JA全農賞」受賞祝賀会が盛大に開催されました。

この看板は、JAくま青壮年大会に向け青壮年免田支部が作成したもので、10月23日の「JAくま青壮年大会」、27・28日の「熊本県農業フェア」を勝ち抜き、今年2月6日・7日に開催された「JA全国青年大会看板コンクール」で見事「JA全農賞」に輝きました。

「手わたすにつぼんの宝物」とタイトルがつけられた看板には、青空と田園風景、そして、かかしを作る子どもが描かれ、下部には本物の稲穂があしらってあるほのぼのとした作品となっています。

祝賀会で、松村昭県議会議員は、「日ごろからJA青壮年免田支部がしっかりと活動し、一致団結してきた結果の表れでしょう。」と挨拶されました。

その後、「JA全農賞」の賞状とトロフィーが植薄清重免田町長から手渡されました。

また、JAくま青壮年大会、熊本県青壮年大会で発表された組織発表「免田青壮年部のあゆみ」を黒田区の椎葉健一さんが簡潔にまとめ発表されました。

☆「JA全農賞」の立て役者の声☆

中神貴行氏（26歳 二子区）

「皆様のご協力のおかげで、素晴らしい賞を頂くことができました。」

岡村友和氏（26歳 二子区）

「盟友あつての賞だと思います。これからも、青壮年免田支部を盛り上げたいと思います。」



賞状を受け取る中神さん(右)、となりは岡村さん(左)

二月二十八日、免田中学校武道場において、中学二年生の生徒が立志式を迎えました。

当日は、八一名の生徒が誓いの言葉を述べ、免田美咲さん(黒田)は「たくさんの人から信頼される人になりたい。」と誓いました。

その後、保護者から「今、頭がやわらかいうちに、たくさんのことを勉強してほしい。そして志を高くもってガンバレ！」などとエールが送られました。

また、「大人になるということ」と題して臨床心理士の岡崎光洋先生による講演が行われ、生徒たちは、真剣に聞き入っていました。



新たな決意を胸に秘め、発表！

将来を見据え、大人への第一歩を踏み出す 免田中学校立志式

二月十四日、吉井保育園において家庭教育学級オリジナルキーホルダーづくりが行われました。

これは、免田町教育委員会が子どもたちの心を豊かに育むために、家庭や地域社会での様々な体験活動の機会を提供することを目的として町内の各幼・保育園を巡回したものです。

この日、参加した二十名の園児は、親子で一緒にオリジナルキーホルダーづくりに挑戦し「やったー！できた！」などとはしゃぎ声をあげ、楽しそうに作っていました。



どうやったら、うまくできるの？

出来た！私だけのキーホルダー 各園巡回家庭教育学級



見事二連覇達成！



まちの

免田町青年団完全制覇！

第33回球磨郡青年団駅伝大会

免田町青年団が有終の美を飾りました。

去る2月2日、球磨郡青年団駅伝大会が、深田村の球磨郡青年会館を発着とする11区間、30.42kmのコースで開催されました。

大会2連覇のかかった免田町青年団は昨年10月から練習を開始し、万全の体制で大会に臨みました。

午前10時の号砲でスタート。免田町は1区から2位と好位置につけ、2区の富田幸恵さんは、区間新記録の走りで首位を奪取し後続を大きく引き離しました。その後も五区間で区間賞を取る走りを見せ、一度も首位を明け渡すことなく、2位に6分以上の差を付け見事優勝しました。

大会結果は次のとおり

優勝 免田町青年団—監督 米谷隆広

高村憲二、富田幸恵、杉本和教、沖松紘平、宅摩阿美、蓑田昌宣、坂井敏幸、免田英郎、山口智和、西 悟志、免田 剛

区間賞（免田町青年団関係）

富田幸恵（2区）、杉本和教（3区）、宅摩阿美（5区）

蓑田昌宣（6区）、山口智和（9区）、免田 剛（11区）

免田町青年団

小田敏宏団長歓喜の声

昨年の10月から、雨の日も雪の日も団員みんなで団結し練習に取り組んできました。

この仲間たちとともに、最高の結果と思いを残すことが出来たことを誇りに思います。

この思いを大切に、合併後も町の中心となり若者たちを引っ張って、あさぎり町を盛り上げていきたいと思います。



2連覇目指しスタート！

収穫の喜びを胸に！

たばこ苗間引き



器用に箸を使い、一つひとつ抜き取りました

二月八日、免田町たばこ育苗施設（丸池北側）において、免田町たばこ生産組合による、たばこ苗の間引きが行われました。このたばこ苗の間引きは、余分に生えた苗を抜き取り、作物を十分に生育させるために行われています。

この日詰め掛けた約六十人のたばこ生産者は、午前八時から一斉に間引きを開始。目がくらむほど小さな苗を一つひとつ器用に抜き取っていました。間引きは午後四時半ごろまでかかり、ようやく終了しました。この苗は、二月十二日に各生産者に苗分けされ、仮植されました。

三月七日頃から本田への移植作業が始まっています。

免田町シルバー

人材センター活動状況



「私の生きがいです」と折戸さん

昨年十一月に発足した免田町シルバー人材センターの現会員数は四十二名に上りました。

二月一三日、築地区の富崎邦嘉さん宅の剪定をされた、折戸刘穂氏（69歳久鹿）と小屋松正一氏（74歳黒田）は「『きれいにできましたね』と喜んでもらえることが、私たちにとっての一番の喜びです。」と話され、「今後も体力の続く限り、頑張りたい」と抱負を述べられました。二月末までの実績は、六十六件作業を受け、延べ作業時間は二〇〇九時間、延べ人数は二四一名に達しています。

シルバー人材センターでは現在も会員を募集しています。

Tel 090 (9572) 2550

免田町閉町式典



〜ありがとう

そして

さようなら免田町〜

三月三十一日をもって免田町の六十六年の歴史に幕を下ろすにあたり、去る三月九日、免田中学校体育館において、「免田町閉町式典」が開催されました。免田町内から約七百名が参列し免田町閉町を飾るのに相応しい式典となりました。



免田町長 植薄 清重

ご挨拶

「天の時、地の利、人の和」

明治四年（一八七一年）の廃藩置県の時から数えると百三十二年、永い歴史の流れの中で本日、一大転換期を迎える免田町閉町式典を挙行することになりました。

ここに町内外の来賓各位、町内各層の皆様と共に「この日ここにあり」ことは、お互いに感慨無量であります。

閉町と申しますと、一抹の寂寥感がありますが、私達はここに改めて、この地域のむらづくり、まちづくりの盡力なされた、

先祖先輩の偉大なご功績に感謝し、まさに「天の時、五つの町村の人の和が一致した」ことの重大な意義をかみしめて、共にくらし合う十年二十年後、或いは五十年後百年後に向け全力を盡くして、その仕組に取りかからなければなりません。

この式典に際し、記念事業並びに、アトラクション出演に多大のご協力を賜り、大きく華を添えて頂く皆様に、心から感謝を申し上げご挨拶いたします。



将来を担う中学生が「あさぎり町旗」を披露



関西会の山本さんの琴演奏が式典に花を添えた



春の花で彩られた「式典会場入口」



ふるさと会寄贈の記念碑と記念樹



閉町式典の最後を飾る「ふるさと」の全員合唱

第一部 記念式典

午後二時に開会した記念式典では、植薄清重免田町長より名誉町民、自治功労、善行者へ表彰状が授与されました。

また、ふるさと免田町会員による記念樹贈呈に対し、感謝状が手渡されました。

その後、植薄清重免田町長が式辞を述べ、尾曲幸晴議会議長が「合併が実現したからといって、私たちの地域づくり町づくりは目的達成ではありません。議会としては元の五町村の均衡ある発展・充実に重きを置きたい」と挨拶されました。また、来賓を代表して衆議院議員金子



免田町名誉町民の称号が贈られた

表彰状贈呈

名誉町民表彰

松本秀信氏（9ページに詳細）

自治功労表彰

中村逸雄氏

（監査委員 在職八年一月）

秋山 喬氏

（町医 在職十五年）

田原信雄氏

（文化財保護委員 在職十年）

小出正明氏

（交通安全推進員 在職十年）

内田富男氏

（交通安全推進員 在職十年）

善行表彰

桑原定利氏（吉井区）

公共施設の美化運動や花いっぱい運動の先駆者として貢献

黒木隆見氏（二子区）

地区民の墓地周辺の長年の美化清掃活動に貢献

兼田幸雄氏（永才区）

地区のゴミ収集所の美化運動や長年の公民館管理に貢献

西木明幸氏（下乙区）

ボランティアによる手話活動による社会福祉の向上に貢献

山部 正氏（八幡町区）

社会福祉活動への積極的参加や八幡神社境内の防犯活動に貢献

小山義徳氏（大正町区）

通学路の花植栽や美化活動に尽力頂き、青少年健全育成に貢献

ふるさと会

桜記念植樹式

ふるさと会による記念植樹式は、同日午後一時から岡留公園において開催されました。

この日のために、ふるさと免田町各会からは、三十名を越える会員が帰省されました。

桜の記念樹は免田町出身者で構成されるふるさと免田町関東会、中部会、関西会の会員から贈呈され、樹高六メートルを超える「しだれ桜」や「八重桜」など二十本が植樹されました。

また、桜記念樹の脇には、記念碑も建立されました。

このふるさと会による閉町記念植樹事業へは三地区合わせ百七十一名の方から基金をいただきました。

ふるさと会各会長による桜の記念植樹



昭和57年1月に制定された「免田町章」を小学生が返還

最後に、免田中学生の塩本直弘君と福本慶さんがあさぎり町旗を披露し、あさぎり町へ向け塩本君は「あさぎり町を明るく、住みよい、活気のある町にするためベストを尽くします。」と、福本さんは「あさぎり町がこれまでの免田町のようにすばらしい故郷となるよう努力します。」とそれぞれメッセージを送りました。



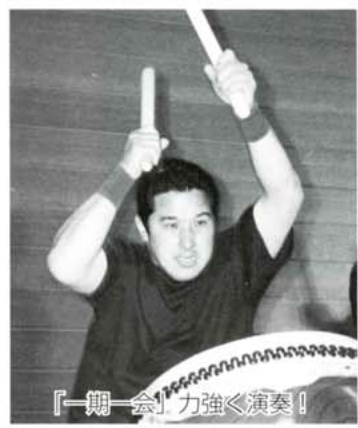
ふるさと会各会長による桜の記念植樹



会場を魅了したコールさわやかの歌声

第二部

アトラクション



「一期一会」力強く演奏!



免小学校歌を熱唱!

第一部「記念式典」終了後、免田町でおなじみの和太鼓「二期一会」の演奏で第二部「アトラクション」が開幕しました。

「あさぎり町」を担う小学生が免田小学校校歌を器楽演奏・合唱すれば、中学校ブラス部員らはすばらしい音色をかなで、会場全体の雰囲気盛り上げました。

そこへ、現在PR活動中の「KUMAKOイ六調子」踊り隊が飛び入り参加し、会場からは驚きの声が上がりました。

免田町の町花リュウキンカの色に合わせた衣装を身にまとったコールさわやかが入場すると、会場からは大拍手。免田町閉町に相応しい歌声を披露しました。

最後は参列者全員で「ふるさと」を大合唱。みんなの心に残るすばらしい「免田町閉町式典」となりました。



【小学生器楽部】
沼田美月さん(右)・中村友香さん(左)



【中学生吹奏楽部】
荒川恵里さん(右)・大谷智美さん(左)



【和太鼓「二期一会」】
山本 敏暢さん



【コールさわやか】
東 ユミエさん

免田町最後の発表ですので感慨深いものがありました。

でも、久しぶりに免田町に帰ってこられた方に聞いていただきうれしく思います。

「二期一会」も結成十周年となり、若い方に加入していただき新たな曲に取り組みたいです。

免田町六十六年の歴史を閉じる免田町閉町式典ということ、会場に入ったときから、涙が出てきました。

最高の舞台に参加させていただいてうれしく思います。あさぎり町では今以上に頑張ります。

ありがとう免田町 さようなら免田町 ありがとう免田町 さようなら免田町 ありがとう免田町 さようなら免田町 ありがとう免田町

なつかしの写真展・小学生絵画展



我が子の絵画を鑑賞



なつかしの写真に見入る参列者

閉町式典を前に募集され二月から段階的にポッポ館に展示し好評を集めていた、「なつかしの写真」と小学生があさぎり町の将来像を描いた「絵画」も、この日はかりはと閉町式典会場と同中武道場に二斉に張り出されました。

式典参列者は、「免田町の昔の姿」を懐かしみ、思い思いの免田町について語っていました。

また、武道場では小学生の素直で気持ちのこもった絵画に目を奪われ見入っていました。

名誉町民に 松本 秀信氏



業績概要

《松本秀信氏》

氏は、昭和二十二年から免田町議会議員として五期二十年在職され、そのうち十二年間は免田町議会議長として要職を務められました。

更に昭和四十二年からは免田町長として五期二十年の永きにわたり在職され、活気溢れる明るく住みよい町づくりに全力を挙げて努められました。

その間、熊本県町村会副会長、球磨郡町村会長等歴任され、町内はもとより郡内、県内の数多くの役職に携わり多年の経験と誠実な人柄をもって積極的にその業務を遂行し、町民並びに関係者の信頼に応え住民福祉・教育文化の向上、農業・商工業の振興、道路・上水道・公営住宅建設など社会資本の充実や生活環境整備等に多大なる業績を残されました。

なかでも、昭和四十五年に工事着工した免田町上水道事業は、渇水期の水不足や衛生上の不安から、その早期整備は町民の長年の悲願でありました。

氏は、そうした町の現状を憂い、住民の理解と協力を求め精力的にまた誠実に日夜努力され悲願達成に尽力されました。

その結果、昭和四十九年度の完成以来今日まで免田町民は安全で安定した飲料水の恩恵に浴しているところであります。

また、第一次・第二次構造改善事業、役場庁舎の移転改築事業、地籍調査事業など諸施策を通じて、今日の免田町の礎を築く多大なる貢献を成し遂げられました。

松本秀信氏の主な経歴

大正2年12月28日生まれ

昭和6年3月 球磨農業学校本科卒業

昭和6年4月 自営焼酎醸造業に従事

昭和22年4月 免田町議会議員に当選（以後42年4月まで）

昭和23年6月 免田町農業協同組合組合長理事（〜26年5月）

昭和26年5月 免田町議会議長（〜30年4月・34年5月〜42年4月）

昭和39年4月 球磨養蚕農業協同組合連合会会長理事（〜45年3月）

昭和40年5月 中球磨五箇町村農業構造改善事業組合議会議長（〜42年4月）

昭和42年4月 免田町長に当選（以後62年4月まで）

昭和42年4月 球磨広域事業組合組合長（〜62年4月）

昭和47年2月 中球磨六箇町村火葬場組合組合長（〜62年4月）

昭和54年5月 球磨郡町村会会長（〜62年4月）

昭和54年5月 球磨地方畜産開発協議会会長（〜62年4月）

昭和54年5月 球磨郡体育協会会長（〜62年4月）

昭和54年6月 熊本県球磨土木協会会長（〜62年4月）

昭和59年11月 熊本県町村会副会長（〜62年4月）

【表彰歴】

昭和15年4月 叙勲八等白色桐葉章

昭和42年10月 熊本県知事表彰

昭和46年5月 大日本蚕糸会総裁表彰

昭和52年11月 熊本県町村会会長表彰

昭和59年1月 全国町村会会長表彰

昭和60年7月 九州社会福祉協議会会長表彰

昭和61年10月 熊本県社会福祉協議会会長表彰

昭和61年11月 中央募金会会長表彰

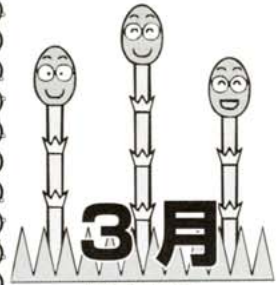
昭和62年3月 全国土地改良連合会会長表彰

昭和62年9月 日本赤十字社表彰

昭和62年9月 熊本県野菜振興協会球磨支部長表彰

昭和62年9月 熊本県知事表彰
昭和63年4月 叙勲四等瑞宝章
平成4年10月 自治大臣表彰

まちの 情報



問合せ先
免田町役場 45-1111

平成十五年度危険物取扱者及び消防設備士の試験日程について

平成十五年度の危険物取扱者試験ならびに消防設備士試験の日程について次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

	危険物取扱者試験		消防設備士試験
	第1回	第2回	
公示日	4月3日(木)	8月29日(金)	7月4日(金)
受付期間	4月18日(金)	9月19日(金)	8月1日(金)
	4月24日(木)	9月26日(金)	8月7日(木)
試験日	6月8日(日)	11月16日(日)	9月7日(日)

内閣府青年国際交流事業に参加してみませんか?

内閣府では、将来を担う国際感覚豊かな青年を育成するため、様々な国際交流事業を実施しています。

平成十五年度を実施する「国際青年育成交流」(日中、日韓青年親善交流)「世界青年の船」(東南アジア青年の船)に参加する青年を募集します。

募集期間は四月四日までです。中間選考日は四月十八日です。

◆応募方法等問合せ先

県庁県民生活総室青少年係
TEL 096(383)1111



青年海外協力隊の募集

国際協力事業団青年海外協力隊事務局では、青年海外協力隊・シニア海外ボランティア・日系社会青年ボランティアを募集します。

青年海外協力隊(応募対象者二十歳～三十九歳)・シニア海外ボランティア(応募対象者四十歳～六十

九歳)両事業は、「現地の人々とともに」という基本姿勢のもと、技術や知識を活かして開発途上国の国づくり、人づくりに協力しようとするボランティア活動です。

また、日系社会青年ボランティア(応募対象者二十歳～三十九歳)は、中南米地域における日系人社会の発展に貢献するボランティア活動です。

これらの募集説明会も次のとおり開催されます。

◆募集期間

平成十五年四月十日

～五月二十日

◆募集説明会日時・場所

《青年海外協力隊及び日系

社会青年ボランティア》

・四月十六日 十八時半～

・五月 八日 十八時半～

くまもと県民交流館パレア

・四月二十三日十八時半～

玉名市勤労青少年ホーム

《シニア海外ボランティア》

・四月二十四日十八時半～

くまもと県民交流館パレア

◆問合せ先

熊本県企画振興部国際課

国際協力班

TEL 096(383)1111

(内線3190)



住宅金融公庫ローンを返済中の方へ

住宅金融公庫では、一時的な家計収支の悪化により、せつかく手に入れた住宅を手放すことのないよう、収入が一定程度減少したことにより、また、病气やけがなどによる不慮の支出が増えたことにより返済が困難となっている方について、返済条件変更(返済期間の延長や元金返済の据置、据置期間中の金利引下げ等)を行い、負担軽減を図る新特例制度を実施しています。

この度、新特例制度について、返済期間の延長期間の拡大(最長十年→最長十五年)や、元金据置措置の適用要件の緩和(収入減少割合30%以上→20%以上)などの拡充を行いました。

詳しくは、返済中の金融機関もしくは住宅金融公庫までご相談下さい。

◆問合せ先

住宅金融公庫南九州支店

TEL 096(387)2000

**熊本県少年「友好の翼」
「友好の船」等の団員募
集!**

県内の小中学生を沖縄県に派遣させ班活動や、沖縄での参観活動等を通じて、団体生活での規律や楽しさを学ばせ、少年の健全育成を図ります。

募集期間は平成十五年四月十四日から五月九日までで、負担金は四万五千円となっております。(応募先は町教育委員会まで)

また、中国と韓国でホームステイや実情参観、地元青年と交流し国際的視野を広め心身の高揚を図る「ヤングネットワーク・ウイング九州2003」の熊本県団員も募集します。

▽「友好の翼」

(募集対象)

小学五・六年生二百二十二人
中学一～三年生 四十八人

(渡航手段・宿泊先)
航空機・ホテル四泊

(研修期間)

平成十五年 七月二十日～
二十四日 四泊五日

▽「友好の船」

(募集対象)

小学五・六年生 八十人
中学一～三年生 二十人

(渡航手段・宿泊先)

船・船二泊、自然の家四泊
(研修期間)

平成十五年八月一日～七日
六泊七日

**▽「ヤングネットワーク・
ウイング九州2003」**

(募集対象)

班長 県内在住の概ね三十歳以上四十歳未満の者
一般団員 県内在住の二十歳以上三十歳未満の者

(募集期間)
四月一日～五月十二日

(派遣先) 中国・韓国

(研修期間)

総合事前研修(沖縄県)
七月二十五日～二十七日

本研修(中国、韓国)
八月十六日～二十四日

(負担金) 七万三千元
(応募先・問合せ先)

県庁県民生活総室青少年係
〒862-8570

熊本市水前寺六・十八・一
TEL 096(383)1111

県民文化祭

前夜祭実行委員募集!

今年十月二十五日からの十日間、人吉球磨地域一帯で第十六回熊本県民文化祭が開催されます。

現在、県民文化祭前夜祭の実行委員を募集しておりますので、ふるってご応募ください。

◆募集人員 三十人程度

◆募集対象 人吉球磨地域在住で、十九歳以上三十歳代までの方

◆募集締切日 平成十五年三月三十一日

◆前夜祭日程等(予定) 期日・十月二十四日

会場・カルチャーパレス小ホール

実行委員の方は、ボランティアとして位置づけ

◆問合せ先 熊本県民文化祭人吉球磨地域実行委員会事務局

TEL(28)3095



**労働安全衛生法に基づ
く各種免許試験の実施
について**

九州安全衛生技術センターでは、労働安全衛生法に基づき平成十五年度各種免許試験を次のとおり行います。

各種免許試験案内

試験の種類	上期日程					下期日程(予定)						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二級ボイラー技士	15	7	4-19	9	26	30	16	26	18	8	12	3-23
クレーン運転士	11	12	5	4	25	22	22	27	10	13	24	24
移動式クレーン運転士	3	9	17	17		16	1		3	14	19	10
衛生管理者	22	22	23	3-15	1	3	8	13-25	17	7	18	8-25
潜水士	8			8			15			20		

※試験日程欄の数字は学科試験の実施日です。
※この他に13種類の試験を行っています。(詳しくは問合せ先まで)

労働保険

年度更新について

熊本労働局では、年度更新に必要な書類を三月末までに事業主の方へ送付します。その後、各地で集合受付会を開催しますので、労働保険概算・確定保険料申告書を作成の上、集合受付会場か、最寄の労働基準監督署、金融機関か郵便局へ申告・納付ください。

更新手続きを怠りますと、国で保険料を決定するほか、追徴金が課せられることがありますので、期限内の申告・納付をお願いします。

なお、確定保険料の精算は、平成十四年十月一日から雇用保険の料率に変更があるため、一部様式の変更があります。

また、労働保険は一部の農林水産業を除き、一人でも労働者を雇用する場合は必ず加入しなければならぬ制度となっております。

◆問合せ先

熊本労働局労働保険徴収室
TEL 096(211)1702

◆問合せ先
九州安全衛生技術センター
〒839-0809
福岡県久留米市東合川五丁目九番三号
TEL 0942(43)3381



4月のカレンダー



日	月	火	水	木	金	土
		1 あさぎり町開庁式	2 町長選挙立候補予定者説明会	3	4 県議選告示日 (県議選不在者投票開始～12日)	5
6 消防団入退団式 (9:00～)	7 母子健康手帳交付 (9:00～9:30 保健センター) 6ヶ月児相談(9:00～保健センター)	8 農業委員選挙告示日 (農委選不在者投票開始～12日) 小中学校始業式 6ヶ月児相談(9:00～保健センター)	9 3ヶ月児健診 (13:00～保健センター) 小学校入学式 (9:30～免田小体育館) 中学校入学式 (14:00～免田中体育館)	10 2歳児歯科検診 (13:00～保健センター) 町ぐるみ「あいさつ運動」の日	11	12
13 熊本県議会議員一般選挙 農業委員会委員一般選挙	14 1歳2ヶ月児相談 (9:00～保健センター) ツベルクリン反応検査 (13:00～保健センター)	15 1歳2ヶ月児相談 (9:00～保健センター)	16 ツ反判定・BCG接種 (13:00～保健センター)	17	18	19
20	21 母子健康手帳交付 (9:00～9:30 保健センター) ツベルクリン反応検査 (13:00～保健センター)	22 町長選挙告示日 (不在者投票開始～26日) 4歳児歯科検診 (13:00～保健センター)	23 ツ反判定・BCG接種 (13:00～保健センター)	24 3歳児スクリーニング検査 (9:00～13:00～保健センター)	25 3歳児スクリーニング検査 (9:00～13:00～保健センター) 免田小学校PTA総会	26
27 あさぎり町長選挙	28 母親学級 (13:00～保健センター)	29 みどりの日 	30 免田中学校PTA総会	あさぎり町発足という特殊事情のため、日程については、予定とさせていただきます。		

表紙の紹介
免田町花の「リユウキンカ」です。免田町がなくなっても、「リユウキンカ」は丸池に咲いています。黄色い小さな花を見に行ってみてはどうでしょうか。

表紙の紹介

免田町花の「リユウキンカ」です。免田町がなくなっても、「リユウキンカ」は丸池に咲いています。黄色い小さな花を見に行ってみてはどうでしょうか。

▼「免田町閉町式典」も終わり、あとは「あさぎり町」誕生を迎えるのみとなりました。皆様にとつての、「免田町」はどのようなものでしたか？今一度思い出していただき、ご家族の方や友人と「免田町」について語り合ってみてはどうでしょうか。新たな「免田町」が再発見できるかもしれません。

▼伝統ある「広報めんだ」も今回で閉刊します。これまで町民の皆様には、取材にご協力いただきありがとうございます。ごさいました。私自身、広報担当となり一年、「広報めんだ」最終号に携わることができうれしく思います。約五十年間(337号)ごさいました。ごさいました。(フク)

編集後記

人の動き

(平成15年2月末現在)

人口	6,174人	
男	2,947人	女 3,227人
出生	5人	死亡 5人
転入	17人	転出 30人
世帯数	2,006世帯	